



もしもの時に備える！

# 防災一口メモ

◎危機管理課危機対策係

TEL 44-3108

災害に伴う停電や感電事故に備えましょう

## 日常的に気を付けること

### 非常用品を用意する

まずは、停電時の光源を確保するため、懐中電灯と乾電池を準備しましょう。このほか、スマートフォンなどのモバイルバッテリーや、電池式ラジオがあると便利です。また、自動車のガソリンを日頃から満タンに保つことも大切です。

### 屋外にあるものを片付ける

ビニールシートや老朽化した看板などが強風で飛ばされると、電線にひっかかり停電を発生させる可能性があります。飛ばされる恐れがあるものは、しっかりと固定するか、撤去しましょう。



ビニールハウスや小屋などの破損を補修する



老朽化した看板は撤去する

## 災害発生時に気を付けること

### 電化製品の電源をオフにする

停電が発生したら、給電再開時の火災を防ぐために、電化製品のスイッチを切りましょう。特に、アイロンやドライヤーなどの発熱する器具は火災の原因になりやすいので、停電後すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

停電中に自宅等を離れる場合は、ブレーカーを落としてから移動しましょう。

### 感電事故を防止する

破損した電柱や電線、電線に巻き付いたビニールなどに触れると、感電する恐れがあります。大変危険ですので、近づかないでください。

破損した電柱などを見つけた場合は、中部電力(株)ネットワークコールセンターへ連絡をお願いします。

TEL 0120-985-232

# ふくろい歴史事典

◎生涯学習課文化振興係  
TEL 23-9264

## 富士浅間宮の田遊び

### (袋井市指定文化財)

**田** 遊びとは、稲作の作業をまねて演じ、その年の豊作を祈る行事です。市内では毎年1月7日に開催される法多山の田遊びが有名ですが、富士浅間宮でも1月3日に田遊びが行われています。

**富** 土浅間宮の田遊びは、午前10時頃から始まる新年のお祭りの中で行われます。お祭りでは、まず地元住民の交通安全祈願祭を行い、次に3本の紙くじから2本を引いてその年のお米の出来を占います。そして、

いよいよ田遊びが行われます。目や演じ方は、神社によって大きく異なります。富士浅間宮では、神社の床を田んぼに見立て「田起こし」と「田植え」を演じます。まず田起こしでは、参加者は持ってきた柳の枝をくわに見立て、耕すように床

へ打ち付けます。こうした演じ方は富士浅間宮独特のもので、大きな音をたてて悪いものを追い払う意味を持っています。

**次** は田植えです。神職が田植え歌をうたう中、柳の葉や小枝を苗に見立てて床板の隙間に植えていきます。田植えが終わると床は掃き清められ、その後、神社の前庭から南方に向かって悪魔ばらいの矢を放ち、終了となります。



富士浅間宮の田遊び「田起こし」